PROPERTY DATA BANK

2027年3月期第2四半期
決算短信補足説明資料

【TICKER】4389 /【TERM】2026.04 - 2026.09.

2026年11月11日

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

PROPERTY DATA BANK

2027年3月期第2四半期　業績サマリー（連結）

売上高・各利益項目はいずれも前年同期比で増収増益となり、営業利益は前年同期比27.5%増と、堅調な業績拡大を継続。

売上高
1,841百万円
（前年同期比＋15.8%）

経常利益
483百万円
（前年同期比＋18.9%）

営業利益
478百万円
（前年同期比＋27.5%）

当期純利益
321百万円
（前年同期比＋20.0%）

※百万円未満切捨て

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　業績ハイライト（前期比）

クラウドサービスは、新規顧客の獲得を中心に顧客基盤が拡大し、堅調に推移。
ソリューションサービスは、大型案件の売上計上が進み、前期比で大幅な増収を達成。

（単位：百万円）		2026年3月期　第2四半期 実績	2027年3月期　第2四半期 実績	前期比
売上高（連結）		1,589	1,841	＋15.8%
プラットフォーム事業	クラウドサービス	938	1,034	＋10.3%
	ソリューションサービス	651	809	＋24.3%
その他		5	6	＋22.2%
営業利益		375	478	＋27.5%
経常利益		406	483	＋18.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		267	321	＋20.0%

※百万円未満切り捨て
※2027年３月期第１四半期より、事業実態および収益構造をより明確にお伝えする観点から、従来の子会社別開示から、
　クラウドサービスおよびソリューションサービスの２区分による業績開示へ変更しております。

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

通期業績予想に対する進捗率

クラウドサービスはおおむね計画に沿って進捗。
ソリューションサービスは下期偏重の売上構成となっており、例年と同様の進捗で推移。

（単位：百万円）		2027年3月期　第2四半期 実績	2027年3月期　通期 業績予想	進捗率
売上高（連結）		1,841	4,200	43.8%
プラットフォーム事業	クラウドサービス	1,034	2,090	49.5%
	ソリューションサービス	809	2,102	38.5%
その他		6	14	43.9%
営業利益		478	1,340	35.7%
経常利益		483	1,330	36.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		321	890	36.1%

※百万円未満切り捨て
※2027年３月期第１四半期より、事業実態および収益構造をより明確にお伝えする観点から、従来の子会社別開示から、
クラウドサービスおよびソリューションサービスの２区分による業績開示へ変更しております。

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　サマリー

2027年3月期　計画	2027年3月期第2四半期　実績

クラウドサービス

（計画　2,090百万円）	（売上高　1,034百万円）
■不動産ERPとしての訴求を継続し、大型案件を獲得 ■不動産WHOLE LIFE構想を支えるデータ基盤として、@propertyを中心としたクラウドサービスのさらなる普及・拡大 ■新リース会計基準対応を契機とした顧客接点の拡大 ■当社の中長期的な企業価値創出のための源泉として、クラウドサービス全体の月額利用料成長と解約率低減によるストック型収益基盤のさらなる強化を推進	■大型案件の稼働開始および中小型案件の積み上げにより、クラウド収益に安定して寄与している ■不動産ERPとしての認知拡大により、@propertyへの引き合いが堅調に推移 ■建物・設備管理領域における業務効率化ニーズを捉え、「@cmms」の普及および案件獲得を推進

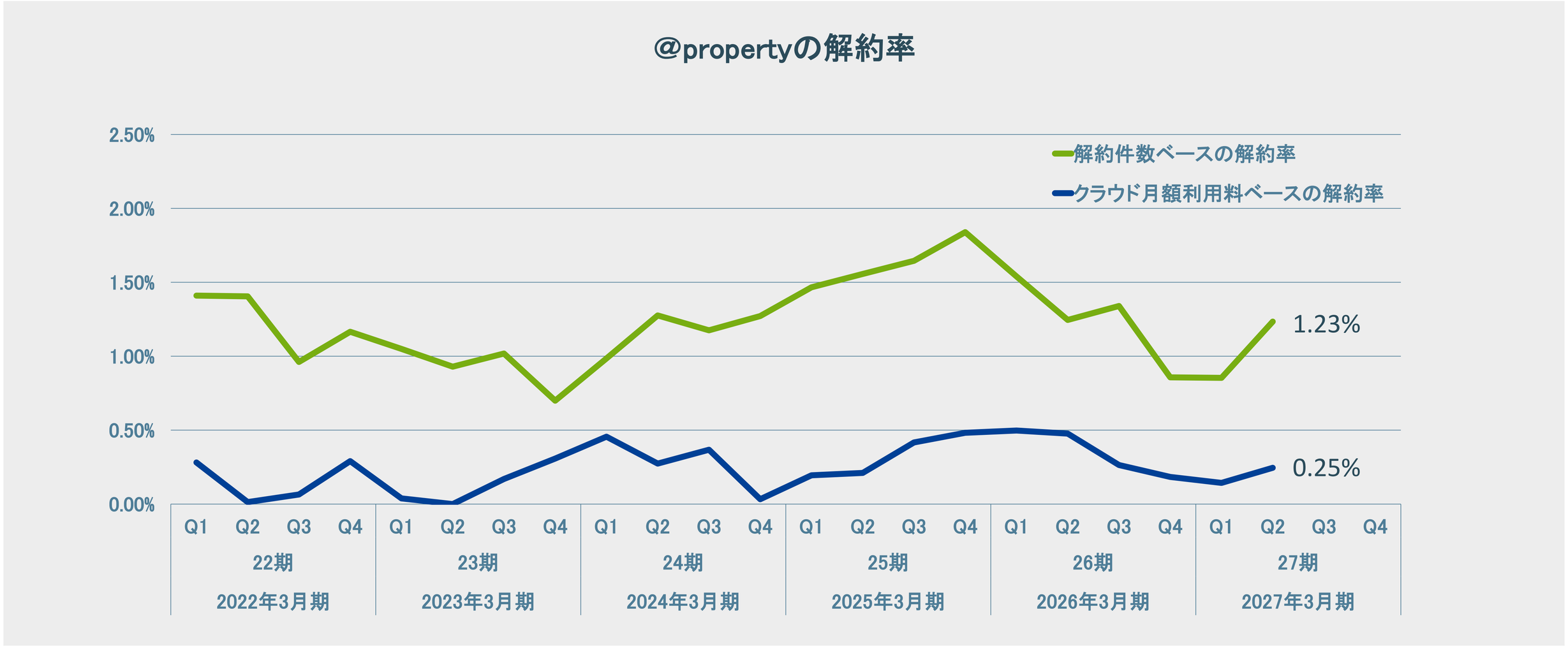
ソリューションサービス

（計画 2,102百万円）	（売上高　809百万円）
■不動産DX需要を捉えた大型案件・開発案件の獲得を推進 ■不動産WHOLE-LIFE構想の実現に向け、クラウドサービスと連携したデータ活用・業務高度化支援を強化 ■子会社との連携によるグループ総合力を活かした提案領域の拡大 ■高付加価値案件への注力による売上拡大と収益性向上	■新リース会計基準対応案件は順調に計上が進んでいる ■@cmms、データサイエンス案件の引き合いは堅調、下期の本格化を見込む ■セキュリティ関連オプションは、セキュリティへの関心の高まりを背景に好調に推移

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

@property　解約率

解約率は件数ベース、月額利用料ベースともに引き続き低水準で推移し、安定した顧客基盤を維持。



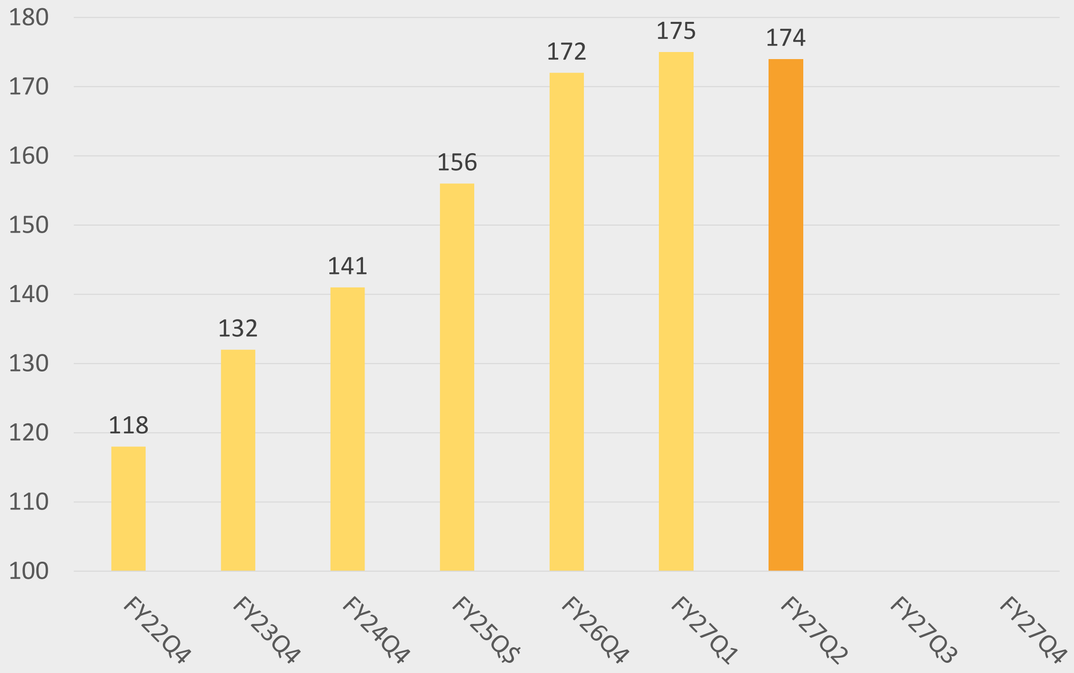
2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

クラウドサービス月額利用料

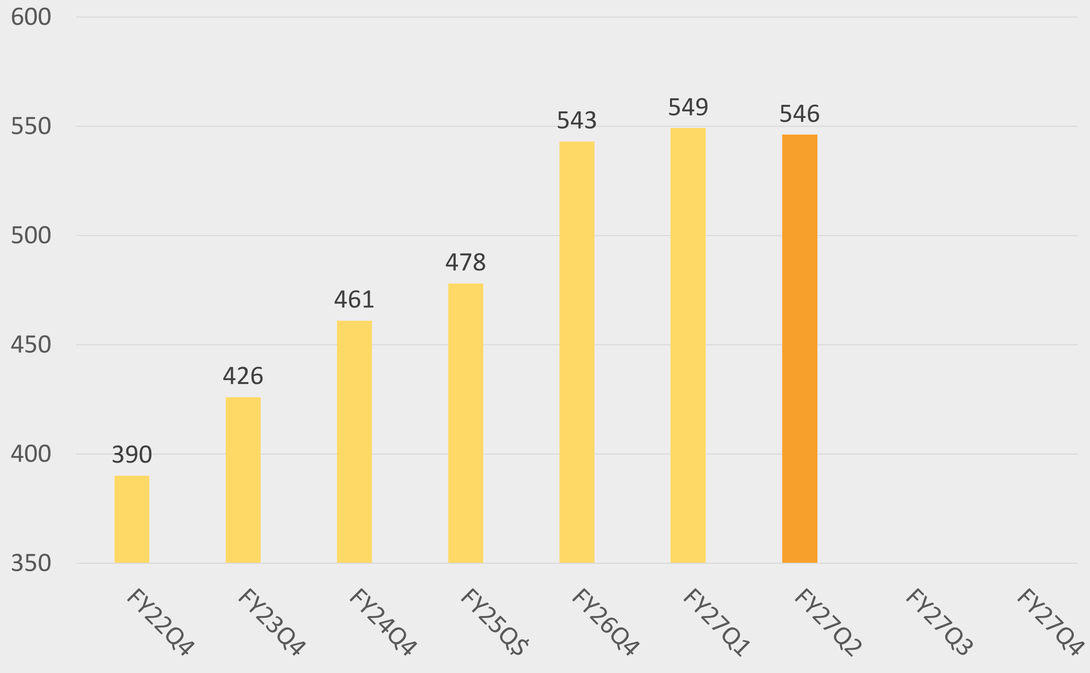
大型案件の本稼働に向けたテスト利用の終了に伴い、一時的に月額利用料が減少。
10月から本稼働が開始しており、今後、利用料収入の大幅な増加を見込む。

四半期平均 クラウドサービス月額利用料

（単位：百万円）
※ 百万円未満切捨て



（単位：千円）
※千円未満切捨て

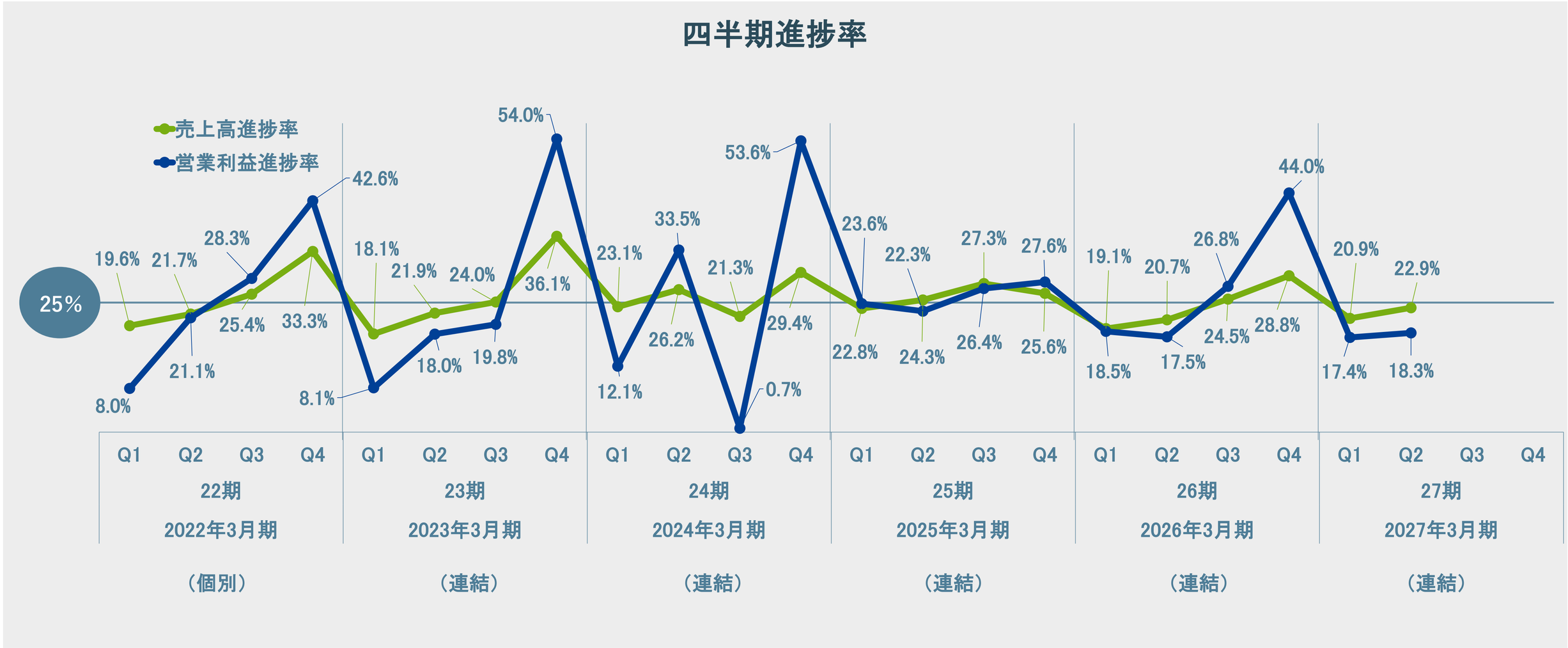


※昨年度まで記載しておりました2027年３月期Q4の月額利用料（予想）につきましては、中期経営計画（2027年3月期–2029年3月期）の策定に伴う計画変更のため記載を削除しております

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

四半期毎の進捗率

売上高・営業利益ともに下期偏重の傾向にあり、例年と同様の進捗で推移。



2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

2027年3月期第3四半期以降の取組み

2027年3月期　計画	2027年3月期　第3四半期以降の取組み

クラウドサービス　（計画　2,090百万円）

■不動産ERPとしての訴求を継続し、大型案件を獲得
■不動産WHOLE-LIFE構想を支えるデータ基盤として、@propertyを中心としたクラウドサービスのさらなる普及・拡大
■新リース会計基準対応を契機とした顧客接点の拡大
■当社の中長期的な企業価値創出のための源泉として、クラウドサービス全体の月額利用料成長と解約率低減によりストック型収益基盤のさらなる強化を推進

■展示会・セミナー等を通じた新規顧客との接点創出を継続
■営業部門は人員増強が順調に進んでいる。充実した営業体制のもと、過去の接触先への再アプローチによる潜在顧客の掘り起こしを推進
■前年度より取り組んでいた大型案件が本稼働開始。クラウド利用料の大幅な増収を見込む

ソリューションサービス　（計画　2,102百万円）

■不動産DX需要を捉えた大型案件・開発案件の獲得を推進
■不動産WHOLE-LIFE構想の実現に向け、クラウドサービスと連携したデータ活用・業務高度化支援を強化
■子会社との連携によるグループ総合力を活かした提案領域の拡大
■高付加価値案件への注力による売上拡大と収益性向上

■新リース会計基準対応の大型案件が下期に複数計上見込み
■@cmmsと連携したデータセンター事業者向けデータ分析・活用案件を推進
■PDB-Platformの追加開発・機能拡張は下期以降に本格化。新たな需要の取り込みを狙う
■子会社各社との連携が進み、グループシナジーを活かした提案活動が拡大

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.

PROPERTY DATA BANK

IR に関するお問合せ
IR担当: 03-5777-3468
メール: PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

2026 © Property Data Bank, Inc. All Rights Reserved.